機械器具 09　医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管

暗室自動 X 線フィルム現像装置 （41011000）

一般医療機器　特定保守管理医療機器

# X-レイフィルム オートマティクプロセサー XP1000

## 【形状、構造及び原理等】

### 1. 構成

(1) 本体

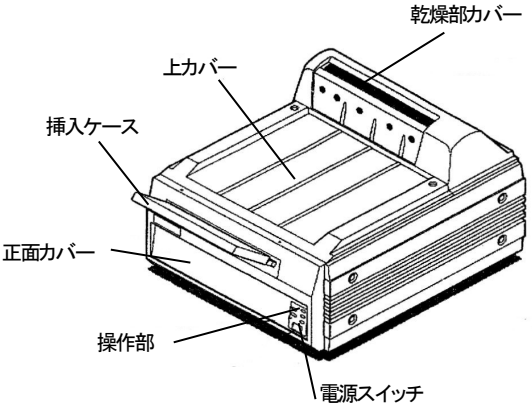
本装置は以下のユニットにより構成されます。

・処理部（現像、定着、水洗ラックを含む）
・乾燥部 （乾燥ラックを含む）
・電装部 （制御部 ）

(2) オプション品

・専用架台

### 2. 各部の名称




### 3. 電気的定格

定格電圧　：　単相　AC 200 V
電源周波数　：　50Hz/60Hz
定格電流　：　10 A

### 4. 本体寸法及び質量

寸法:幅 657×奥行 895×高 510(mm)
（挿入ケースのない場合　奥行 768mm）
質量:約 58kg（処理液を含めて約 77kg）

### 5. 作動・動作原理

(1) フィルムはローラーで構成された処理ラック（現像、定着、水洗、乾燥）の間を自動的に搬送されます。
(2) 各処理液温度、乾燥条件、補充量の供給は自動的に制御されて最適な条件に管理されます。

### 6.仕様

| | |
|---|---|
| 形　　態 | ：ローラー連続移送方式 |
| 処理フィルム | ：10x10cm～35x43(半切)縦 |
| 処理速度 | ：H（90 秒）、M（110 秒）、L（150 秒） |
| 処理能力 | ：90 秒処理時 75 枚/h　25x30(四切)横 |
| | ：90 秒処理時 53 枚/h　35x43(半切)縦 |
| 処理槽容量 | ：現像槽 6.5 ℓ、定着槽 6.5ℓ、水洗槽 5.5 ℓ |
| 処理温度 | ：現像 34℃ |
| 水洗水 | ：常温水（5℃～30℃） |
| 水洗水量 | ：2 ℓ/ 分　以下 |

## 【使用目的、又は効果】

本装置は、暗室内で撮影済みのスクリーン型医用 X 線・画像診断用フィルムを自動現像処理する装置です。

## 【使用方法等】

### 1. 使用環境条件

温度: 10 ～ 30 ℃
湿度: 30 ～ 80 %RH（結露なきこと）

### 2. 設置上の注意点

(1) 水などのかからない場所に設置してください。
(2) 換気設備の整った部屋に設置してください。
(3) 水道法を遵守して設置してください。

### 3. 操作方法

(1) 処理を始めるとき
始業前の点検を行い、電源を入れてください。
(2) フィルムの処理
暗室内の暗室ランプ点灯の下で、表示灯（READY）が点灯した後、挿入ケースの蓋を開け、撮影済みのフィルムを挿入してください。
(3) 処理を終わるとき
使用後の終業点検を行い、電源を切ってください。
操作方法の詳細は取扱説明書を参照してください。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

(1) この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
(2) 装置のカバーを開けた状態で使用しないこと。けがや感電するおそれがあります。
(3) 装置を使用の際は設置環境（温度、湿度、電気的定格）を守ること。
(4) 環境を良好に保つため、自動現像機を設置した部屋の換気扇を使用時作動させ、新鮮な空気を入れること。
(5) フィルム、処理薬品は指定された製品を使用すること。
(6) 装置に不具合が発生した場合（異常な音、臭い、煙などが発生した場合）は、直ちに電源を切り「故障中」等の適切な表示を行い弊社 又は弊社指定の業者へ連絡すること。
(7) 移設する場合、又電源接続変更等が必要な場合は、弊社又は弊社指定の業者へ連絡すること。

**取扱説明書を必ずご参照下さい**

2. 本装置使用上の注意

(1) 使用前には、液槽内に処理液が十分あること、及び給水栓が開いていることを確認すること。
(2) フィルムを処理する際は、表示灯(READY)が点灯していることを確認すること。
(3) 装置の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼすおそれがあるので、使用しないこと。
(4) 使用後電源スイッチを切った後は、給水栓を必ず閉めること。

3. その他の注意

(1) 現像液と定着液は指定された産業廃棄物処理業者に処理を委託するか、自家処理の場合、地方自治体の定める排水基準を遵守して排水すること。
(2) 現像液、定着液の容器は指定された産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
(3) この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となるため、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を委託すること。
(4) 処理液が目に入ったり、皮膚に触れると刺激しますので保護手袋、保護メガネを着用すること。
目に入ったときは直ちに多量の水ですすいで医師の診察を受けること。皮膚に触れたときは、多量の水で洗うこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

温度: 0 ～ 40 ℃
湿度: 20 ～ 85 %RH (結露なきこと)

2. 耐用期間

使用上の注意を守り、正規の保守・点検を行った場合に限り納入後6年間です。〔自己認証(当社データ)による〕

## 【保守・点検に係る事項】

(1) 医用機器の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
(2) 使用者による日常及び定期点検、サービス業者による定期保守点検を必ず行ってください。
保守・点検についての詳細は取扱説明書を参照してください。

＜使用者による主な点検項目＞

| 点検項目 | 点検頻度 | 実施しない場合の影響 |
|---|---|---|
| 装置外観の点検と清掃 | 随時 | 汚れがフィルムに付くと処理品質に影響する懸念があります。 |
| 現像ラック、定着ラックと現像・定着液槽の清掃 | 1.5～2.5ヶ月 | 液が結晶化してラックに付着し、故障、処理品質低下の原因となる懸念があります。 |
| 水洗ラックと水洗槽の清掃 | 1.5～2.5ヶ月 | 水藻の発生が増え、処理品質低下となる懸念があります。 |
| 水洗槽の水洗水の交換 | 1週間 | 水藻の発生が増え、処理品質低下の原因となる懸念があります。 |
| 処理液交換 | 1.5～2.5ヶ月 | 液の劣化が進み、処理品質低下の原因となる懸念があります。 |

(3) 定期保守点検頻度はフィルム処理量や一日の稼働時間により異なります。
(4) 指定された業者による保守点検及び定期交換部品については、弊社又は弊社指定の業者にお問い合わせください。

＜清掃方法＞

外観、フィルム挿入口、及びフィルムトレーは水を少し含ませて硬くしぼった柔らかい布で拭いてください。清掃時、揮発性の溶剤、または40℃以上のお湯は使用しないでください。処理するフィルムに悪影響を及ぼす可能性があります。
詳細は取扱説明書を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の名称等】

製造販売業者
名　称 :株式会社ダイトーマイテック
住　所 :〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄三丁目10番22号
東朋ビル4F
電話番号:052-251-7241

製造業者
名　称 :株式会社ダイトーマイテック

〔販売業者(販売店)〕

.

**取扱説明書を必ずご参照下さい**